



Y.Hamano

THE TOKYO SHIMBUN HAI

第75回 東京新聞杯 (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円
付加賞 560,000円 160,000円 80,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 57⁺、牝馬2⁺減、2024.2.3以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬3⁺増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2⁺増、牝馬限定GⅡ競走またはGⅢ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1⁺増、2024.2.2以前のGⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2⁺増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1⁺増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.2.9 東京 晴・良 芝1600⁺ (国慶) (特招)

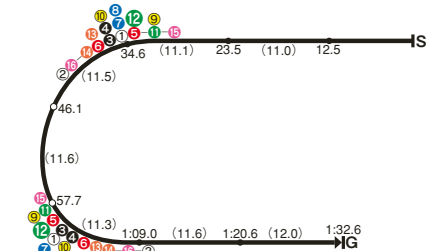
順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位 (600 ⁺)	上り (600 ⁺)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑫	ウォーターリヒト	牡 4	57	菅原明良	1:32.6	12-12	33.2	468(-2)	7.4③	河内 洋(栗東)	112
2	④	ボンドガール	牝 4	55	武 豊	クビ	6-6	33.7	456(+8)	4.4②	手塚貴久(美浦)	107
3	⑧	メイショウチタン	牡 8	57	吉田 豊	½	1-1	35.1	480(-8)	257.0⑩	本田 優(栗東)	110
4	⑦	ブレイディヴェーグ	牝 5	56	C.ルメール	クビ	9-8	33.6	482(+14)	2.6①	宮田敬介(美浦)	108
5	⑭	マテロウスカイ	騾 6	59	横山典弘	½	3-3	34.4	486(+2)	39.5⑩	松永幹夫(栗東)	
6	⑮	セオ	牡 5	57	横山和生	1¼	2-2	35.0	486(-8)	27.6⑧	上村洋行(栗東)	
7	③	シャンパンカラー	牡 5	59	内田博幸	½	6-8	33.9	514(+4)	80.7⑦	田中 剛(美浦)	
8	⑮	オフトレイル	牡 4	58	田辺裕信	½	16-16	33.2	456(+2)	30.5⑨	吉村圭司(栗東)	
9	⑥	オールナット	牡 4	57	北村友一	¾	4-5	34.4	532(+6)	9.2⑤	高野友和(栗東)	
10	⑩	ジュンプロッサム	牡 6	59	戸崎圭太	クビ	9-8	34.2	478(+6)	9.6⑧	友道康夫(栗東)	
11	⑪	ジオグリフ	牡 6	59	横山武史	クビ	14-14	33.7	514(-)	21.9⑦	木村哲也(美浦)	
12	⑤	コラソソビート	牡 4	55	津村明秀	クビ	12-12	34.1	464(-)	102.1⑨	加藤士津八(美浦)	
12	⑬	ゴートファースト	牡 5	57	池添謙一	同着	4-4	34.8	476(-10)	86.8⑫	新谷功一(栗東)	
14	⑨	ゾンニッヒ	牡 7	57	浜中 俊	2	6-6	34.8	478(-4)	129.8⑫	池江泰寿(栗東)	
15	①	サクラトゥジュール	騾 8	58	R.キング	1¼	9-8	34.8	516(+4)	9.0④	堀 宣行(美浦)	
16	⑨	ラグルフ	牡 6	57	三浦望成	5	14-14	35.1	494(-2)	217.6⑬	宗像義忠(美浦)	

単勝⑦740円(3⁺%) 複勝②230円(3⁺%) ④180円(2⁺%) ②3,570円(16⁺%) 枠連②-⑥1,260円(5⁺%)

馬連④-①1,540円(6⁺%) ワイド④-②620円(6⁺%) ②-②28,850円(94⁺%) ②-④19,700円(81⁺%)

馬単②-④3,540円(15⁺%) 3連複②-④②174,760円(235⁺%) 3連単②-④②816,870円(1,178⁺%)

5重勝⑬⑩⑧⑩②1,062,130円(567票) 対象競走：京都10R/東京10R/小倉11R/京都11R/東京11R



通過タイム：600⁺ 800⁺ 1000⁺ 上り：800⁺ 600⁺
34.6 - 46.1 - 57.7 46.5 - 34.9

アラカルト

- 菅原明良騎手はカラテで制した21年に続く東京新聞杯2勝目。
JRA重賞は通算12勝目
- 河内洋調教師は東京新聞杯初勝利。JRA重賞はサンライズソアで制した18年平安Sに続く通算7勝目
- ドレフォン産駒はJRA重賞通算5勝目
- 4歳馬の勝利は22年イルーシヴバンサーに続く通算41回目
- 非抽選馬 1頭(ロジリオン)

ウォーターリヒト *Water Licht*

牡 栗毛 2021.3.24生
北海道浦河町 伏木田牧場生産
馬主・山岡正人氏 栗東・河内洋厩舎
馬名意味・冠名+光、明かり(独)

ヴァインゴールドUSA系 F4-r

ドレフォンUSA Drefong 鹿毛 2013	Gio Ponti 鹿毛 2005	Tale of the Cat
		Chipeta Springs
ウォーターピオニー 鹿毛 2013	Eltimaas 鹿毛 2007	Ghostzapper
		Najecam
	ヴィクトワールピサ 黒鹿毛 2007	ネオユニヴァース
ウォーターピオニー 鹿毛 2013	マチカネハヤテ 鹿毛 2005	ホワイトウォーターアフェアGB
		サクラバクシンオー
		ベルセゾン

5代までのインブリード：Mr.Prospector S5×M5×M5

INTERVIEW

伏木田修代表(伏木田牧場)

豪快な走りに驚きながら見ていました

同日、妹がきさらぎ賞に出走したので山岡オーナーは京都競馬場へ、私は東京へ行きました。他馬をぐわーっと飲み込むような豪快な走りを、いつの間にこんなに強くなったんだと驚きながら見ました。初子でしたが馬格に恵まれ、当歳馬品評会に出陣したほどですが、芝の重賞を勝つような馬になったことは嬉しい誤算です。次はぜひオーナーと一緒に応援したいですね。

Y.Machida



奪ったメイショウウチタンは緩みのないラップを刻んでレースを先導。馬群の隊列が次第に延びていくなか、ボンドガールは6番手につけ、ブレイディウエーグは昨年の覇者サクラトウジュールと並んでその背後を進む。ウォーターリヒトの菅原明良騎手はリズム重視の運びで後方4番手を追走。じつくりと末脚を温存し、直線勝負に構えた。2番手のセオに3馬身ほどのリードをつけて4コーナーを回ったメイショウウチタンは、直線に向いてからも後続の反撃をなかなか寄せ付けず、「押し切るか」の場面をつくる。しかし坂を駆け上がり、その脚色が鈍ったところへボンドガール、さらに外からは併せ馬の形で伸びてきたブレイディウエーグとウォーターリヒトが強襲。なかでも一際、鋭い差し脚を發揮したウォーターリヒトがボンドガールをクビ差に捉え、豪快な追い込みを決めた。

昨年のシンザン記念は0秒2差の3着、きさらぎ賞はハナ差の2着と、早くからタイトルに手が届く下地を示してきた本馬は、6カ月月の休養を挟んで復帰した昨秋に覚醒。3勝クラス特別リステッドのキャピタルSを連勝し、軌道に乗った。年明け初戦の京都金杯は強襲及ぼす、サクラトウジュールの2着に敗れたものの、昨秋、連勝を飾った東京のマイル戦で鮮やかに雪辱。さらなる飛躍を予感させる内容で重賞ウイナーの仲間入りを果たした。

父ドレフォンUSA

北米9戦6勝(BCスプリント^{G₁}、キングズビショップ^{S^{G₁}}、フォアゴース^{S^{G₁}})、米チャンピオンズプリンター、18年から供用
〔代表産駒〕**ジオグリフ**(皐月賞^{G₁}、札幌2歳^{S^{G₃}})、**アンデスビエント**(関東オークス^{J^Ⅱ})、**ミッキーファイト**(レパード^{S^{G₃}}、名古屋大賞典^{J^Ⅲ}、ジャパンダートクラシック^{J^Ⅱ}2着)、**デシエルト**(中日新聞杯^{G₃}、若葉^{S[・]L})、**ウォーターリヒト**(本馬)、**コンシリエール**(オアシス^{S[・]L}、カトレア^{S^{G₃}}、サウジダービー・沙^{G₃}3着)、**テオードレフォン**(福島民友^{C[・]L}、エルム^{S^{G₃}}3着)、**サマルウインド**(信越^{S[・]L}、ワープスピード(メルボルン^{C[・]豪^{G₁}}2着、阪神大賞典^{G₂}2着)、**タイセイドレフォン**(レパード^{S^{G₃}}2着)、**マスクオールウィン**(フェアリー^{S^{G₃}}2着)、**ヒストリックノヴァ**(エーデルワイス賞^{J^Ⅲ}2着)、**カワキタレブリー**(NHKマイル^{C^{G₁}}3着)

母ウォーターピオニー

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央19戦3勝

ウォーターリヒト 本馬(21 牝父ドレフォンUSA)中央13戦4勝(東京新聞杯^{G₃}、キャピタル^{S[・]L}、キングカメハメハメモリアル、京都金杯^{G₃}2着、きさらぎ賞^{G₃}2着、シンザン記念^{G₃}3着)獲得総賞金139,900,000円
ウォーターガーベラ(22 牝父レイデオロ)中央6戦1勝(シンザン記念^{G₃}3着)⑧(23 不受胎)
(24 牝父レイデオロ)

祖母マチカネハヤテ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央5勝(伏見S、石清水S、中京日経賞、かきさぎ賞)、23年死亡

ウォーターピオニー(13 前出)

エイカイマドンナ(15 牝父ハツクライ)中央2勝

レッドアネモス(16 牝父ヴィクトワールピサ)中央4勝(クイーン^{S^{G₃}}、白百合^{S[・]L}、サフラン賞)

レジェモー(17 牝父オルフェヴール)中央3勝(新幹特別)

パンデルオーラ(19 牝父トーセンラー)中央4勝(テレQ杯、小郡特別) ⑧

曾祖母ベルセゾン

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央3勝。07年死亡

アグネスアーク(03 牝父アグネスタキオン)中央4勝(早春S、伏見特別、天皇賞(秋)^{G₁}2着、毎日王冠^{G₂}2着、札幌記念^{J^Ⅱ}2着)

マチカネハヤテ(05 前出)

スウィングベル(07 牝父ゴールドアリュール)中央0勝、地方21勝(珊瑚冠賞)

さらなる飛躍を予感させる重賞初制覇

同じ舞台で争われる春のマイルGI「ウィクトリアマイル」、安田記念の行方を占う意味でも、重要な一戦となる東京新聞杯で1、2番人気を占めたのは2頭の牝馬。2年前のエリザベス女王杯の覇者で、行く手にドバイターフを見据える5歳馬ブレイディウエーグが断然の支持を集め、今年はマイル路線を歩む4歳馬ボンドガールが対抗候補と目された。とはいえ、その前に立ち上がったのは3番人気の4歳牡馬、京都金杯の2着馬ウォーターリヒトが鋭い決め手を冴え渡らせ、定年による引退が間近に迫っていた河内洋調教師に惜別の勝利を贈った。

内枠から好スタートを決め、先手を